

DAITO COMICS
Presented by
KAHORI ONOZUCCA

小野塚カホリ

凍み

S

H

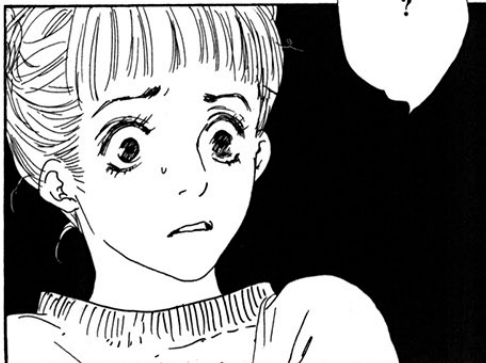
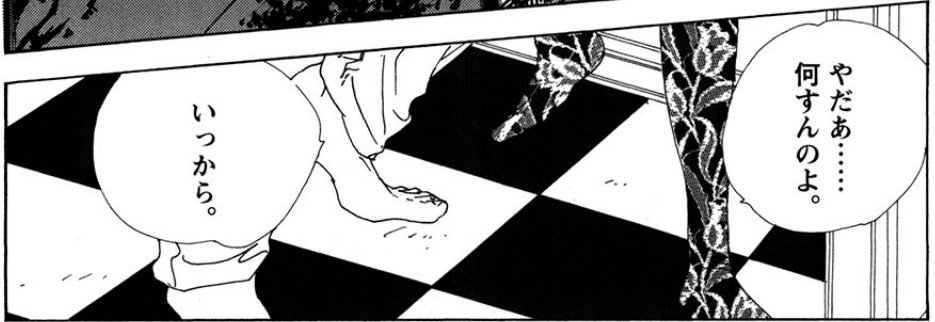
M

I





COUNT.1





……早く
出たってよ。

おなか
痛くなっちゃう。

え？

見せて
くれんじや
ないの？

やあよ、
何考えてん
のよ。

いちどだけ
いちどだけ
いぢぢ
瑠美。

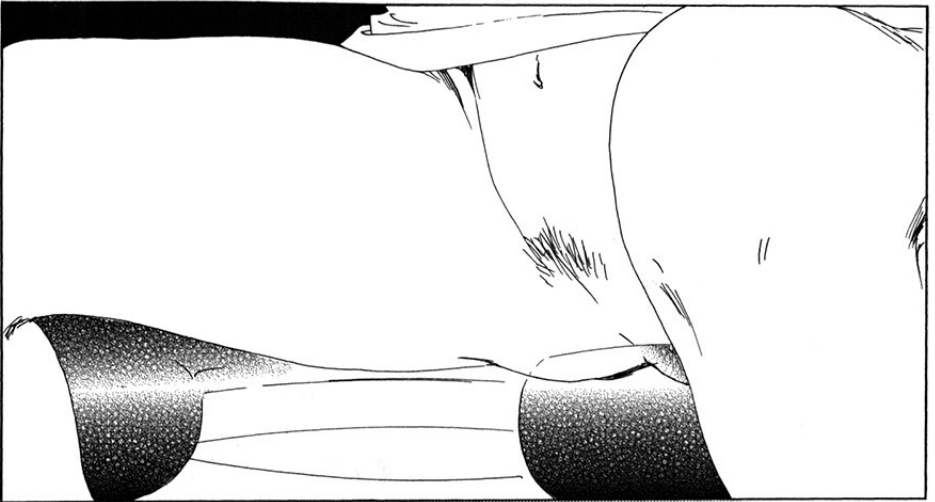


……

も……

もっと脚
開いてよ。

もれちゃう
よ……



血つて
なんだか…



少し
怖いような
気がして…
オレ
嫌いなんだけど、

そのくせ身近らしく、
言葉なんか
いっぱいあつたり
して……

……恥ずかし？

バカね—

ちゃんと
いかして
くんないと
やあよ。

許さない
からね。

え。

……
千早くん。

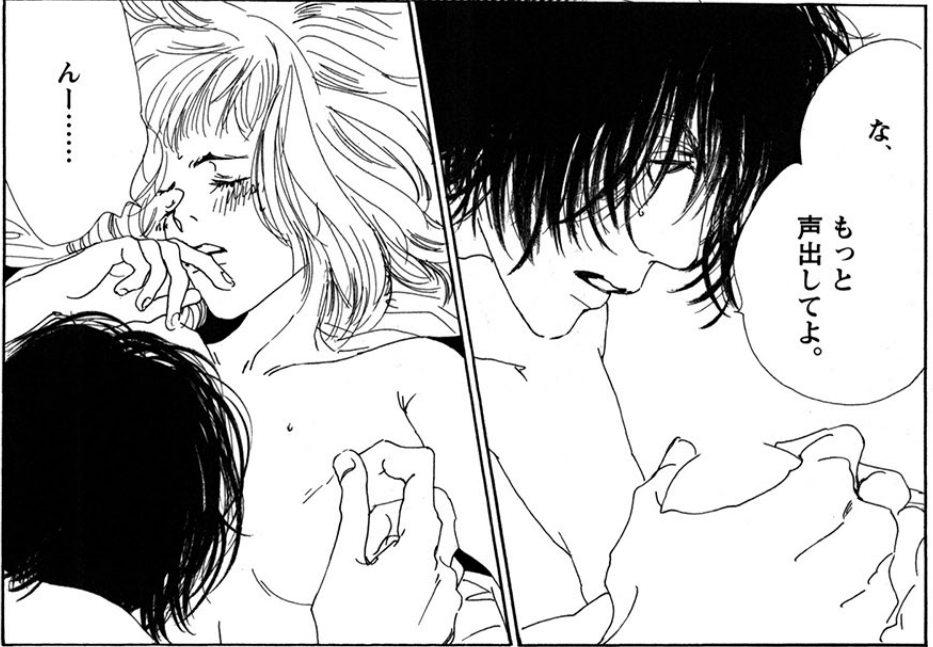
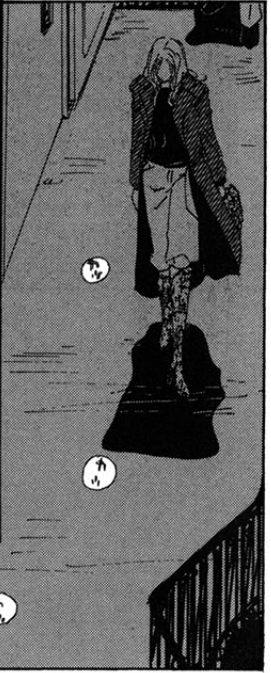
何よ、
あんた
しない気
なの？

……いや……

十

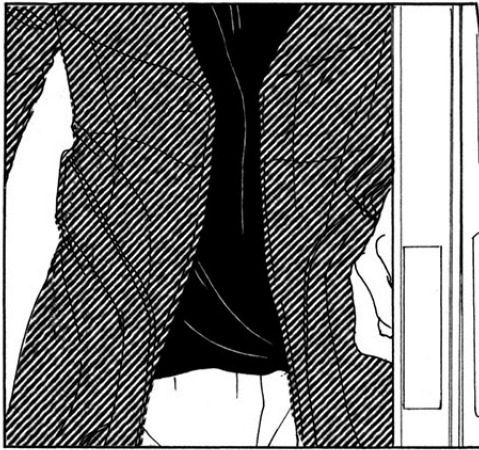


血豆
凝血
血塊



ん……

な、
もっと
声出してよ。



だ
だ
だ

だ
だ
だ



……やっと
血いたまっ
て
きた。
まふまふ



やだ、
誰か来たの？

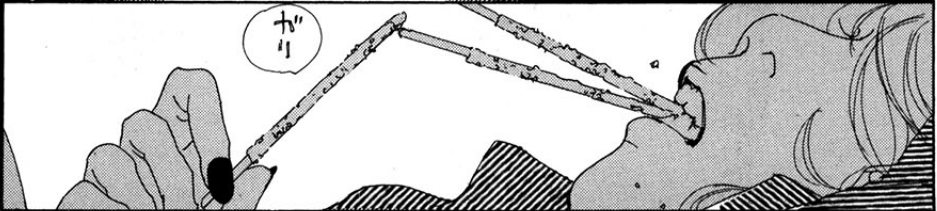
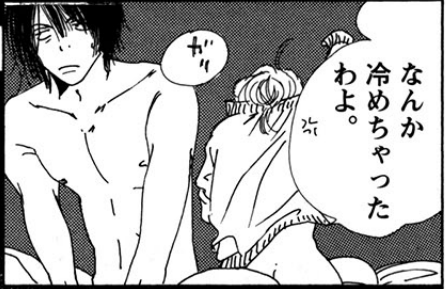
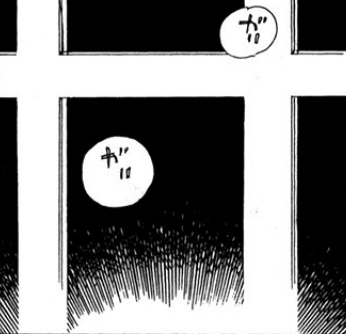
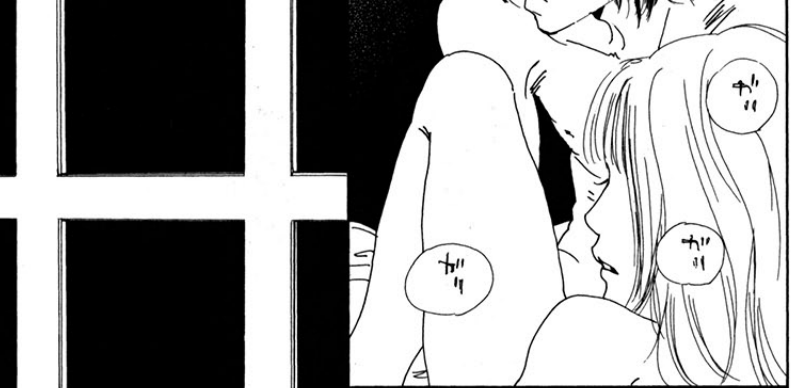
……
いいいい、
気にしないで。



いいから。

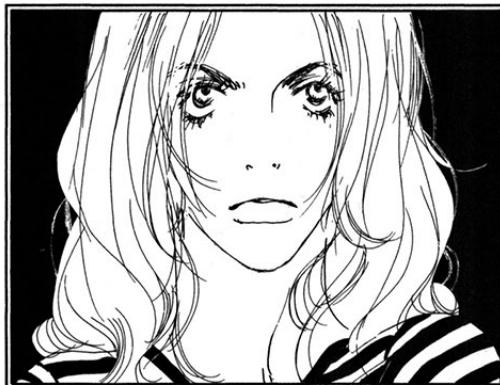
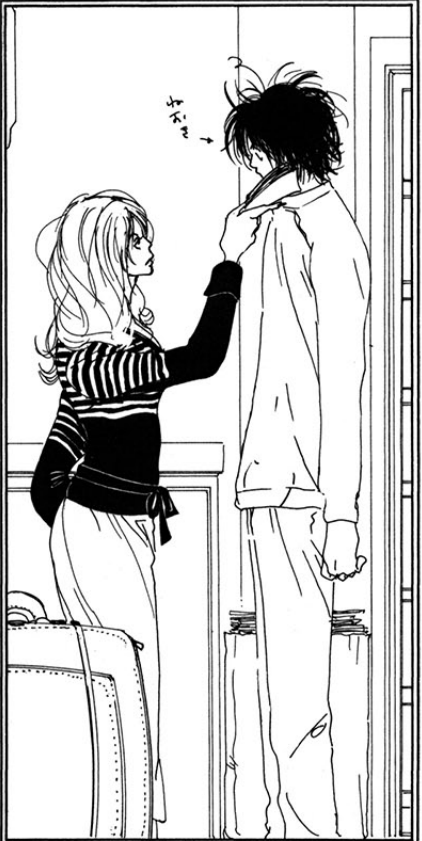
気にしないでつ
たつて。

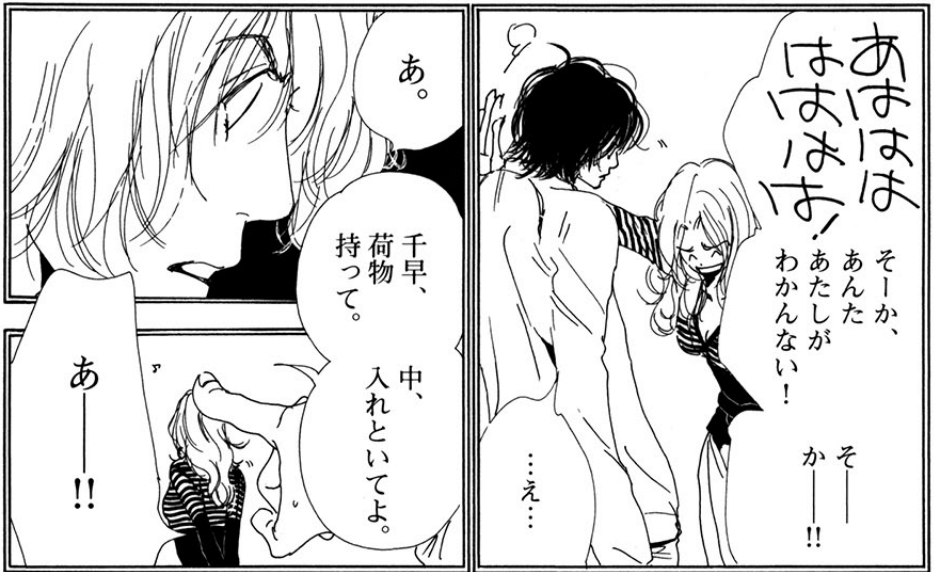




ねーちゃんは、

よこよこ
夜毎夜毎、
オレの家に
帰ってくる。





あ。

千早、
荷物
持って。

中、
入れといてよ。

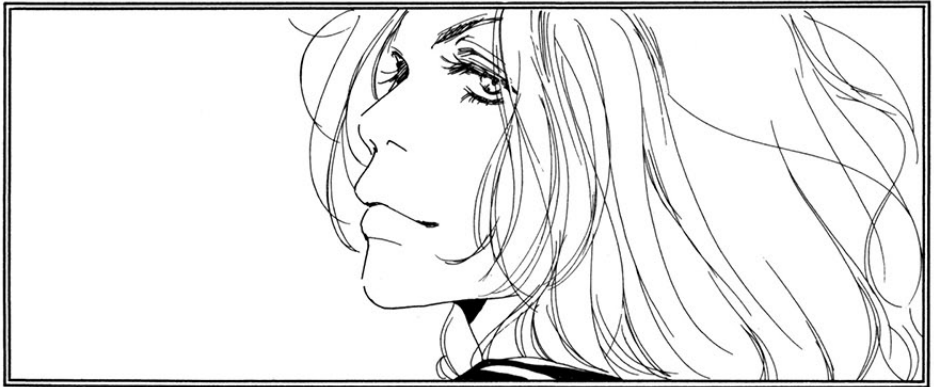
あ——
!!

あははは
はははは

そーか、
あんた
あたしが
わかんない!

そ——
か——
!!

…え…



ねーちゃんは、
その昔、
近所で評判の
大デブだった。

しかも、
眼鏡なんか
かけてたので、

餌食^{えじき}つてのは、
こついうことを
言っただって
感じだった。



デーブ、
デーブ…

こないだの地震、
あいつ転んだから
だぜえ。



うわ…すげ。

空気薄くなる。



ん？



何よ、
何してんのよ。久しぶりの
再会でしょ。
お茶でも
淹れなさいよ。



転勤。

…ねーちゃん、
会社は？



目の前で
脱ぐな。



こっちに
支社ができてね、
それで回されたの。

高校受験
以来だわね、
あたし県外
出ちゃったから。

こっちは
のんびりしてて、
変わらないわね。



平気よ。
あたしいるの
朝と夜だけ
だから。

ね、この睫毛
すごくない？
ヘレナと
ケイトの
W遣い！

ドールラッシュ
いいわよー、
バスサバサに
なるんだから。



刺激的？

誰がだよ？
くつろぐなっ
つってんだよ。

アパートとか
借りてねえのかよ、
借りてねえなら
実家使えよ。

あんたんとこが
会社から一番
近いんだもん。



ね、
どんな感じ
どんな感じ？

うひゃー
コンタクトが
目にくつつく…

ねーちゃんは昔、
コンタクトレンズは
「目に合わない」と
敬遠していた。

……
なんなん
だよ。

見せつけ
てる
つもりな
わけか？

……
バカ女

千早くん。

もう上がっていいよ
客来ないし。
もうオレ一人で
大丈夫だから。

あ、
そーすか。

ちよっと
変わったからって
調子こいてんじゃ
ねーや。

……

だから
もう何度も
言わせないで
よ！

あ部長か
……
そんで……

結局、
あれから
ひと月以上
居座るし、
きつと、
ああいうのは
会社でも
男にケツ振ること
ばっか考えてて、
新入社員とか
上司の
オヤジとか……

